



ネットリテラシー特集

【特集】1年間の活動から見たネットトラブルの実態

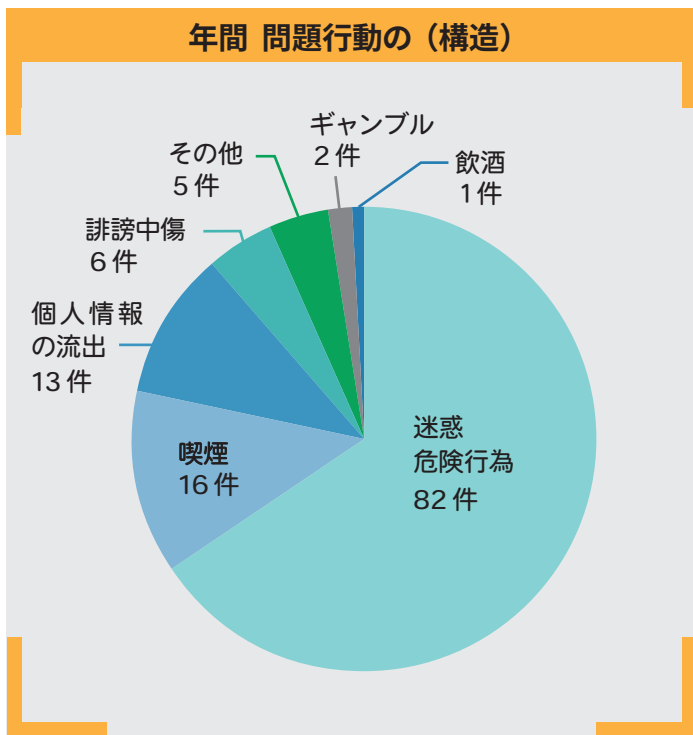
1年間の振り返り・総括

本事業では、ネットパトロール・相談窓口・ICT 講座を通じて、和歌山県内の青少年を取り巻くネット環境の実態把握と支援を行ってきました。

1年間のデータを総合すると、最も大きな特徴は以下の4点です。



① 問題は「特別なもの」ではなく日常化している



ネットパトロールにおいて確認された投稿の多くは、

迷惑行為

危険行為

個人情報の不用意な発信

といったものであり、いずれも「犯罪を目的とした行動」ではなく、日常の延長線上で発生しているという点が特徴です。特に、SNS 上での投稿については「軽い気持ち」「その場のノリ」によるものが多く、本人に悪意がないケースが大半を占めています。



② 投稿は見えにくくなり、問題は潜在化している

パトロールを通じて、

鍵付きアカウントの増加

短時間で消える投稿
 (リール・ストーリーズ)

限られたコミュニティ内
 での共有

が顕著に見られました。

その結果、外部から問題を発見することが難しくなっている状況です。



一方で、相談窓口には

画像の無断使用

性的トラブル

知らない相手とのやり取り

など、表に出にくい深刻な問題が寄せられており、「見えている問題」と「実際の問題」に乖離があることが明らかになりました。

③ トラブルの本質は「知識不足ではない」

講座や現場ヒアリングでは、多くの子どもたちが「危険であることは知っている」と認識しています。しかし実際には、

断れない

大丈夫だと思った

流れでやってしまった

といった理由で行動しており、知識があっても防げていないことが確認されました。



④ 季節・環境による影響

問題投稿および相談件数は、以下の傾向が見られました。

- 5月・9月に増加
- 長期休暇中は減少

新しい環境に慣れ始め、友人関係が深まる5月や、夏休み明けの9月にトラブルが顕在化する傾向があります。これは、人間関係の変化がトラブルの引き金になっていることを示していると考えられます。



投稿件数の推移（年間）



大人がどう対応していくべきか

これまでの傾向を踏まえると、従来の「禁止・注意中心」の指導だけでは限界があります。今後、学校や家庭で求められる対応は以下の通りです。



「ルール」ではなく「判断」を育てる

「やってはいけない」と伝えるだけでは、実際の場面で行動は変わりません。必要なのは、

- なぜ危険なのか
- どのタイミングで判断するのか
- どこで止まるべきか

を具体的に考えさせることです。



人間関係の中で起きる問題として捉える

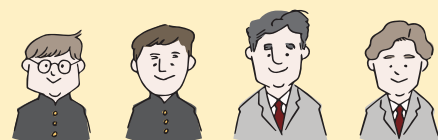
多くのトラブルは、

- 友人関係
- 恋愛関係
- 承認欲求



といった要素の中で発生しています。

したがって、ネットだけを切り離して指導することはできません。日常の人間関係とセットで捉える必要があります。



「相談できる環境」を前提にする

相談窓口の利用状況から、

- 親に言えない
- 学校に言いにくい
- 一人で抱え込む

傾向が見られました。

また、**深刻化してから相談するケースが多い**ことも特徴です。

そのため、

- 早い段階で相談できる環境
- 否定されない関係性
- 複数の相談先の確保

が重要となります。



大人自身の関わり方が問われている

指導においては、

- 一方的に教える
- 禁止する

だけでなく、**子どもと同じ目線で考える姿勢**が求められます。

また、大人自身の SNS 利用や情報発信も、子どもにとってのモデルとなるため、

- 写真の扱い
- 情報の公開範囲
- 許可の取り方

などについて、意識的に行動する必要があります。



これからの活動について

令和 8 年度も昨年同様の活動を続けながら改善を行ってまいります。

1 ネットパトロール 県民で見守る方向へ

ネットパトロールについて県民の方からの通報を受け付けるなどの工夫ができないかを検討してまいります。

3 講座 ワークショップ形式の導入

希望される学校にワークショップ形式の講座を実施します。

2 相談窓口 子どもたちが相談しやすい形への変更

子どもたちがよく見るツールを活用し、相談窓口を使いやすい形に変えていきます。

そしてこの啓発資料もさらにバージョンアップしてお届けしたいと考えております。

今後ともわかやまネットトラブル相談窓口をどうぞよろしく願いたします！

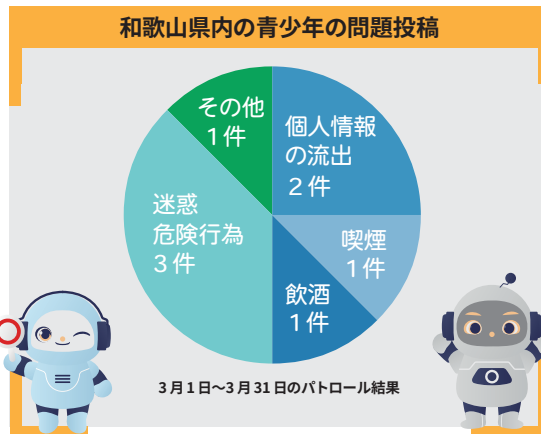
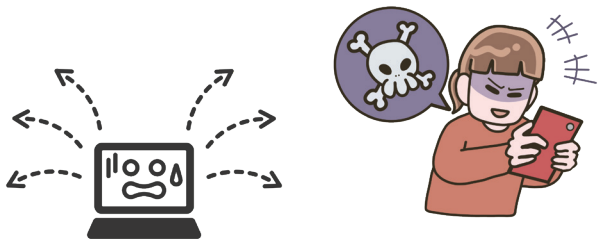


先生方や保護者、支援機関からの情報提供・相談も受け付けます。

わかやまネットトラブル相談窓口では、先生方や保護者の方からの相談も受け付けています。問題のある投稿を見つけた、この問題に対する対処方法を教えて欲しいなど、インターネットのトラブルに関連する様々な解決をお手伝いします。web サイト右下のチャットからアクセスして、ご相談をお寄せください。



2026年3月のネットパトロールで発見された問題投稿は8件。そのうち個人情報流出が2件、喫煙が1件、飲酒が1件、迷惑・危険行為が3件、その他が1件発見されました。



分析

SNSをもっと楽しく安全に！

SNSは、友達と気軽につながったり、自分の好きなことを発信したり、新しい情報や価値観に出会えたりする、とても魅力的で楽しいツールです。日常の出来事を共有することでコミュニケーションが広がり、離れていても身近に感じられる点も大きなメリットです。しかしその一方で、使い方を誤ると思わぬトラブルや危険に巻き込まれる可能性もあることを忘れてはいけません。例えば、何気なく投稿した写真やコメントが他人を傷つけたり、誤解を招いたりすることがあります。また、一度インターネット上に公開された情報は完全に削除することが難しく、いわゆる「デジタルタトゥー」として残り続けることもあります。さらに、知らない人からのメッセージや甘い誘いの中には、詐欺や犯罪につながる危険なケースも含まれています。

SNSを安全に楽しむためには、いくつかのポイントを意識することが大切です。まず、本名や住所、学校名、位置情報などの個人情報は安易に公開しないようにしましょう。

次に、投稿する前に「この内容は誰に見られても問題ないか」「相手を不快にさせないか」を一度立ち止まって考える習慣を持つことが重要です。また、知らない相手とのやり取りは慎重に行い、少しでも不安や違和感を覚えた場合は無理に関わらず、信頼できる大人や周囲の人に相談することも大切です。

SNSは正しく使えば、自分の世界を広げてくれる便利なツールです。楽しさと危険の両面を理解し、自分自身を守る意識を持つことで、より安心して活用することができます。正しい知識と心がけを身につけ、SNSをもっと楽しく安全に使っていきましょう。

出張情報モラル講座

AI時代に大切な「人とのつながり」

3月の講座では、工業高校1校にて講義をさせていただきました。最近生徒の相談先がネットやAIに移行しており、先生方にとって「生徒の困り事」が把握しづらくなっています。ネットやAIは便利ですが、情報の不確かさというリスクも存在します。だからこそ、学校や社会で大人や他の生徒と関わり、多様な考えに触れることが大切です。この「人とのつながり」の大切さを、これからの講義でもしっかり伝えていきます。

講座日	学校名	講座内容	対象生徒の学年	人数
3/16	紀北工業高校	情報モラル	高校1～2年生	290名 (教職員20名)



ネットトラブルの相談、お待ちしております

24時間、チャットbotで相談いただけます！

ネットトラブルの相談窓口を開設しています。右下のリラちゃんのボタンからチャットを行うことができます。24時間、チャットbotが自動で対応するため、気軽に相談ができます。平日15:00-19:00には希望すれば相談員とお話することも可能です。こどもたちからの相談はもちろん、先生方・保護者・青少年の支援機関からの情報提供や相談も受け付けています。

こんな相談がありました

携帯でURLをクリックしたら登録完了とでて、メールで登録解除をするためには電話を24時間以内にかけるようにいわれました。電話をして未成年だと伝えると親でないと解約できないと言われました。どうしたらいいでしょうか？

典型的なワンクリック詐欺の可能性が高いです。お金を払う必要も、電話をする必要もありません。本来ワンクリックで登録が完了してしまうことはありません。24時間以内といった制限時間をつけることで、利用者を焦らせて連絡させようとしています。今回のケースではご両親に相談したあと着信拒否にしたとのことでした。それで大丈夫です。また電話がかかってくる場合、個人情報を伝えたり指示に従わないように気を付けてください。それでも心配な場合は専門の機関に相談しましょう。

1年間で、相談窓口で多かった相談は？

「その場の軽い気持ちで行動してしまったけど、あとから落ち着いて考えてみると危ないんじゃないか？」と不安を感じて寄せられた相談が目立ちました。

具体的には「アダルトサイトを利用して不安になった」「画像をネットで知り合った人に送ってしまった」といった内容が多数を占めています。一度立ち止まって考えることの大切さが、改めて浮き彫りになっています。



こんな機能もあります！

ネット動物診断や未来予測クイズなどでお試しできます！

チャットで相談する練習ができるように、こどもたちが楽しめる診断やクイズも用意しています。申し込みは不要ですすぐにお試しいただけます。ぜひ授業などで試してみてください！

インターネット上でのこんなことを相談いただけます！

- アカウントを乗っ取られた
- 無断投稿を削除してほしい
- 暴力的な表現の投稿を見つけた
- 危険な行為の投稿を見つけた など

青少年

保護者

学校関係者

支援機関



令和7年度「青少年ネット安全・安心のための環境整備事業実施業務」
企画・制作：TETAU 事業協同組合

お問い合わせ

TETAU 事業協同組合
050-5536-9139 (平日 10:00~16:00)
netpat@tetau.jp (担当：森脇・信貴・中村)

和歌山県 共生社会推進部 こども家庭局 こども支援課
TEL：073-441-2502 FAX：073-441-2491
メール：e1104001@pref.wakayama.lg.jp